

# 総探「ぶどう収穫体験・PTA研修②」

令和5年(2023)9月7日(木曜日)



ぶどうの収穫を体験する大迫高の生徒

## ぶどう収穫 慎重に 大迫高生が体験授業

### 花巻

県立大迫高校(大木由里校長、生徒55人)によるぶどう収穫体験は6日、花巻市大迫町の農場

で行われた。全校生徒のほか保護者も参加し、参加者が果樹農家のやりがいや同校の取り組みについて理解を深めた。

「総合的な探求の時間」の実習と同校PTAの研修の一環として実施。同日は蒲萄が丘農業研究所と鈴木寛太さん(32)方の両農場で作業に取り組んだ。このうち鈴木さんの農場には1、3年生と保護者合わせて49人が参加し、生食用のキャンベル約400房を摘み取った。参加者はたわわに実ったぶどうを傷つけないように慎重に収穫していた。

一行は収穫作業後に同校へ移動して、箱詰めや包装も体験するなどしてぶどう農家の苦勞を肌で感じた。森美優さん(1年)は「ぶどうを丁寧に取るのが意外に難しかった。果物の収穫体験は初めてだったのでとても楽しかった」と笑顔を見せていた。

同校PTA副会長の高橋貴憲さん(43)は「教室での授業参観とは違い、子どもたちの表情を間近で見られるのがうれしいし、保護者にとっても貴重な経験になる。小規模高校ならではの活動なのでこれからも続けてほしい」と願っていた。

令和5年9月7日付け  
岩手日日新聞に掲載